550kV MITS（インテリジェントGIS）

近年の電力自由化に伴う変電機器の低コスト化や保守点検コスト低減などの市場ニーズにこたえるため，長年培ってきた当社のガス絶縁技術に加え，ITを駆使したインテリジェントGIS“MITS（Mitsubishi Information Technology Switchgear）”を製品化した。このMITSは以下の特長を持っている。

(1)　構成機器の複合一体化

遮断器を始め断路器，接地開閉器などの主要構成機器を同一タンク内に一括収納した。これにより，小型・軽量化（従来比約50%），据付けスペース削減（気中変電所比約40%以下），一体輸送範囲拡大による据付工期の短縮（従来比約40%）を達成した。

(2)　インテリジェント化

デジタル化対応のCT／PD，開閉極位相制御遮断器，CBM用センサ等を搭載し，それらの高度な機器情報を変電所プロセスバスで伝送処理することによってGISのインテリジェント化を実現した。これにより，初期設備コストの削減，機器の遠隔操作・状態監視による運用コスト削減，及び保守・点検コストの削減など，ライフサイクルコストの低減が期待できる。

550kV MITS

東京都交通局向け都営新宿線列車運行制御装置

このシステムは，他社構築の旧システムの全面リプレースに当たり，当社が一括受注し次世代鉄道制御コンセプトを基に中央集中制御型のトータルシステムとして構築したものである。システム受注から運用開始まで13か月の短納期（当社標準24か月）で工事を完了した。

主な特長は次のとおりである。

(1)　表示装置にTFTディスプレイを採用し，伝送や制御機器に最新汎用機器を採用して設置スペースを従来比1/3，エネルギーを従来比1/2に改善した。

(2)　案内系など従来個々に独立したシステムを有機的に統合し，必要な情報をリアルタイムに入手可能とするサーバ装置を設置して情報の共有化を図った。

(3)　運行表示盤には鉄道業界初のDLP(注)方式プロジェクタを採用し，視認性・拡張性を改善した。

(4)　工程管理にクリティカルパス法を適用し，多くの工程がふくそう（輻輳）する現地工事調整を予定どおり完了した。

大島指令所の風景